

プラグマティズムの思想家

2017 年本試

問 7 有機体や進化という考え方に注目して人間を考察した思想家にデューイがいる。次の文章は、彼の思想についての説明である。[a] ~ [c] に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。 [35]

デューイは、人間も他の生物と同じように、有機体として環境に適応することで生き、成長すると考えた。彼の提唱する [a] によれば、人間に特有な知性もまた、抽象的な真理を発見するためにではなく、日常生活上の苦境や問題への対処を実り豊かにし、その解決に役立つためにある。彼は、環境との相互作用を通じて個々の問題解決を図り、未来を展望する能力を [b] と呼び、この能力を発揮することで、人は過去の習慣を修正し、自我を未来に向けて形成できるとした。さらに、デューイは、こうした人間観に基づいて、従来の暗記中心教育に対して、問題解決型教育を新たなモデルとした教育改革思想も打ち出している。著書 [c] で主張されるように、彼は学校での学習も、学校のそとで起こっている社会の問題の解決に関わるべきだと考えた。

- | | | | |
|---|---------|---------|-------------|
| ① | a 道具的理性 | b 創造的知性 | c 『幼児期と社会』 |
| ② | a 道具的理性 | b 創造的知性 | c 『民主主義と教育』 |
| ③ | a 道具的理性 | b 投 企 | c 『幼児期と社会』 |
| ④ | a 道具的理性 | b 投 企 | c 『民主主義と教育』 |
| ⑤ | a 道具主義 | b 創造的知性 | c 『幼児期と社会』 |
| ⑥ | a 道具主義 | b 創造的知性 | c 『民主主義と教育』 |
| ⑦ | a 道具主義 | b 投 企 | c 『幼児期と社会』 |
| ⑧ | a 道具主義 | b 投 企 | c 『民主主義と教育』 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	35	⑥	3

2016 年追試

問 4 次のア～ウは、言葉について思索した思想家たちを説明したものであるが、それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

4

- ア 言葉や概念を用いる際の二項対立図式のうちに、西洋哲学の伝統的な形而上学的傾向を見だし、そのような思考を揺り動かす脱構築を試みた。
- イ 言葉や概念の意味が、行為によって生み出される結果を通じて決定されると主張し、自己の立場をプラグマティズムと命名した。
- ウ 言葉で語り得るか否かという観点から、経験的な自然科学の命題を論理学や倫理の命題などと峻別^{しゅんべつ}し、分析哲学の形成に影響を与えた。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-----|---|------------|
| ① | ア | デリダ | イ | ポパー | ウ | ラカン |
| ② | ア | デリダ | イ | ポパー | ウ | ウィトゲンシュタイン |
| ③ | ア | デリダ | イ | パース | ウ | ラカン |
| ④ | ア | デリダ | イ | パース | ウ | ウィトゲンシュタイン |
| ⑤ | ア | ベンヤミン | イ | ポパー | ウ | ラカン |
| ⑥ | ア | ベンヤミン | イ | ポパー | ウ | ウィトゲンシュタイン |
| ⑦ | ア | ベンヤミン | イ | パース | ウ | ラカン |
| ⑧ | ア | ベンヤミン | イ | パース | ウ | ウィトゲンシュタイン |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 4	4	④	3

2015 年本試

問 3 次のア～ウは、行動に関する様々な考え方を説明したものであるが、それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

3

- ア 概念や思想の真理性は、それが実生活のなかの具体的な行動や実践においてどの程度「有用性」をもつかによって判断されねばならない、と述べた。
- イ 人間の行動や意識には無意識の領域が深く関与すると考え、とりわけ無意識における人類共通の性質に着目して「元型」と呼ばれる概念を提唱した。
- ウ 青年期の自己探求において、それまでに経験したことのない様々な役割を実際に行ってみることを「役割実験」と呼び、その意義について説いた。

- | | | | | | | |
|---|---|------------|---|------|---|-------|
| ① | ア | ジェームズ | イ | フロイト | ウ | エリクソン |
| ② | ア | ジェームズ | イ | フロイト | ウ | オルポート |
| ③ | ア | ジェームズ | イ | ユング | ウ | エリクソン |
| ④ | ア | ジェームズ | イ | ユング | ウ | オルポート |
| ⑤ | ア | ウィトゲンシュタイン | イ | フロイト | ウ | エリクソン |
| ⑥ | ア | ウィトゲンシュタイン | イ | フロイト | ウ | オルポート |
| ⑦ | ア | ウィトゲンシュタイン | イ | ユング | ウ | エリクソン |
| ⑧ | ア | ウィトゲンシュタイン | イ | ユング | ウ | オルポート |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 3	3	③	3

2014 年本試

問 7 次のア～ウは、現実と理想をめぐる、様々な思想家の考え方を説明したものであるが、それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 35

ア 所有権も貧富の差も存在しない自然状態を理想とし、人々が金銭や名声を追い求める文明社会のあり方を批判する視点から、羨望や嫉妬に満ちた当時の社会を自然状態からの墮落であると論じた。

イ 真の信仰を問う視点から、人間は神の前の単独者として存在している事実を見据えるべきとし、平均化・画一化した当時の社会のなかで、人々が本来の自己のあり方を見失い、欺瞞的に生きていると批判した。

ウ 知性を創造的なものとみなす視点から、知性により社会が改善され、個人と社会が調和し、多様な価値が認められる民主主義社会が実現することを理想とし、教育が既成の価値観の単なる伝達となることを批判した。

- | | | |
|------------|----------|----------|
| ① ア キルケゴール | イ ルソー | ウ ハーバーマス |
| ② ア キルケゴール | イ ルソー | ウ デューイ |
| ③ ア ハーバーマス | イ デューイ | ウ キルケゴール |
| ④ ア ハーバーマス | イ デューイ | ウ ルソー |
| ⑤ ア ルソー | イ キルケゴール | ウ デューイ |
| ⑥ ア ルソー | イ ハーバーマス | ウ キルケゴール |
| ⑦ ア デューイ | イ キルケゴール | ウ ハーバーマス |
| ⑧ ア デューイ | イ ハーバーマス | ウ ルソー |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	35	⑤	3

2014 年追試

問7 次のア～ウは既存の枠組みを相対化する見方を示した思想家についての説明であるが、それぞれ誰^{だれ}についての説明か。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

35

ア 真理，善，美などは，それが人間の生活において有用であるか否かによって決まり，具体的な状況における実践の結果に左右されるので，普遍的でも絶対的でもないとした。

イ 観察など研究活動の蓄積から理論が徐々に進歩していくという科学像に代えて，理論の枠組み(パラダイム)のなかではじめて研究活動は可能になり，その枠組みは時に革命的に変化するという科学像を示した。

ウ 個人の主観的意識を超えた構造として言語を捉え，自由で主体的にみえる人間の言語活動や思考も，そうした構造によって可能になっているとして，構造主義の成立に大きな影響を与えた。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|-------|
| ① | ア | ソシュール | イ | ジェームズ | ウ | クーン |
| ② | ア | ソシュール | イ | クーン | ウ | ジェームズ |
| ③ | ア | ジェームズ | イ | ソシュール | ウ | クーン |
| ④ | ア | ジェームズ | イ | クーン | ウ | ソシュール |
| ⑤ | ア | クーン | イ | ソシュール | ウ | ジェームズ |
| ⑥ | ア | クーン | イ | ジェームズ | ウ | ソシュール |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問7	35	④	3

2013 年本試

問 10 道具は，様々な思想家によって考察の対象となってきた。その説明として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① デューイによれば，道具を用いて環境を改善していく人間にとって，自らの知性もまた，個別の問題を解決して社会を進歩させるための道具である。
- ② カルヴァンは，人間は神の栄光を実現する道具であり，神に服従して善行を積むことによってのみ，神の救いを得ることができると説いた。
- ③ 柳田国男は，無名の職人たちが手仕事で作り出し，民衆が日々使用する道具に，生活に根差した固有の美を見いだし，民芸運動を主導した。
- ④ バークリーによれば，人間は道具を用いるが，人間を道具として扱うべきではない。個人は常に行為の目的として尊重されるべきだからである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 10	10	①	3

2009 年本試

問 6 パースにおいて思考を明晰にするとは、行動を導く信念の意味内容をはっきりと捉えることであった。これに関する次の文章を読み、パースの考え方の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

信念の本質は、習慣を確立するということである。そして、信念の違いは、その信念によって生み出される行動の仕方の相違によって区別される。もしも信念が、行動の仕方という点で異なっているのでなければ……、それらの信念の意識の仕方が異なっても、それらを異なった信念だとすることはできない。それは、ある曲を異なった調で演奏しても、異なった曲を演奏していることにはならないのと同じことである。表現の仕方で異なっているだけの信念はしばしば異なったものとされるが、その区別は架空のものなのである。

(パース「いかにしてわれわれの観念を明晰にするか」)

- ① 思考を明晰にするためには、同じ習慣的な行動であっても、異なった信念に導かれていることに注意すべきである。
- ② 思考を明晰にするためには、主観的な信念の違いにではなく、客観的な行動を導く意識の違いに注意すべきである。
- ③ 思考を明晰にするためには、信念の表現の違いにではなく、信念が生み出す行動の仕方の違いに注目すべきである。
- ④ 思考を明晰にするためには、人間の内面に隠れている意識や信念の相違を言い表す表現の違いに注目すべきである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	28	③	3

2008 年本試

- 問 6 マザー・テレサのように率先して人類愛を実践する人物の行為は、義務行為・許容行為・禁止行為のいずれかに分類することが難しい。この種の特殊な行為について述べた次の文章中の **A** に入れるのに最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

「誰かがそれをしなくてはならない。けれども、どうして自分がそれをしなければならぬのか」というのは、優柔不断な ^{やから}輩 がいつも繰り返す決まり文句である。「**A**」というものが、敢然と危険な任務に身を投じて、これにあたらせようとする熱烈な人類の奉仕者の叫びである。この二つの言葉の間に、道德の進化の全世紀が横たわっている。

(ウィリアム・ジェームズ『宗教的経験の諸相』)

- ① 誰もがそれをしてはならない。とはいえ、どうして自分もそれをしてはいけぬのか
- ② 誰かがそれをしてもよい。とはいえ、どうして自分がそれをしなければならぬのか
- ③ 誰もがそれをしなくてはならない。それなら、どうして自分だけそれをまぬがれうるのか
- ④ 誰かがそれをしなくてはならない。それなら、どうして自分がそれをしてはいけぬのか

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	28	④	3

2007年追試

問2 人が何を「面白い」と思うかは、千差万別である。これと同じように、何を真理とするかも千差万別だと主張することもできる。その主張を支えるジェームズの考え方として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

22

- ① 真理を主張するには、個人の性癖や境遇などに囚^{とら}われることで生ずる偏見を排除することが必要だと考える。
- ② ある主張は必ずそれと対立するものを含んでおり、それらを統一するところに真理の認識があると考ええる。
- ③ 個々人の精神はモナドであり、それぞれが表現する真理は、異なったままにあらかじめ調和がとれていると考ええる。
- ④ 真理というものは、自分にとって役立つものであり、個別的で相対的であるととともに条件的なものだと考える。

問7 環境に対する人間の適応について考えたデューイの主張として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 非人間的な環境を生み出す資本主義を廃棄して社会主義を実現するために、労働者階級の団結が必要だと主張した。
- ② できるだけ多くの人々が環境に適応して幸せになることが最善であるとして、善悪の基準を功利性に求めることを主張した。
- ③ 人間は、知性を道具として活用することによって、よりよく環境に適応し、社会を改良するのだと主張した。
- ④ 社会環境は適者生存のメカニズムにより自動的によりよい状態になっていくから、個人の自由な活動を放任すべきだと主張した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問2	22	④	3
第4問	問7	27	③	3

2004 年追試

問 5 プラグマティズムの説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① プラグマティズムとは、経験論の伝統を受け継ぎ、知識や観念をそれが引き起こす結果によってたえず検証しようとする思想である。
- ② プラグマティズムとは、大陸合理論を基礎として生まれ、後にキリスト教精神によって^{はぐく}まれたアメリカ固有の思想である。
- ③ プラグマティズムとは、行為や行動を意味するギリシア語を語源としているが、その方法は思弁的であり、実生活とは隔絶した思想である。
- ④ プラグマティズムとは、科学的認識よりも実用性を優先し、日常生活の知恵を基盤とする思想である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	14	①	3

2003 年追試

問 6 後の西洋思想に大きな影響を与えたカントの思想は、様々な思想家から批判も受けた。次のア～ウの批判を行った思想家として最も適当な人物を、下の①～⑧のうちからそれぞれ一つずつ選べ。アについては に、イについては に、ウについては に答えよ。

ア 道德の問題は、対話的理性に基づく共同討議によって論じられるべきだが、カントの場合、合意という要素が考慮されていない。

イ 知性を行動の道具と見なす立場からすると、道德の場合も行動の結果を評価すべきなのに、カントは動機の良さだけを重視している。

ウ 道德は、法律や制度という形で社会の中に具体的な 拠^より所をもつべきだが、カントの道德は個人の内面にのみ委ねられている。

- ① ヘーゲル ② ゲーテ ③ フロイト ④ デューイ
⑤ ニーチェ ⑥ マルクス ⑦ ハーバーマス ⑧ ベンサム

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	17	⑦	2
第 2 問	問 6	18	④	2
第 2 問	問 6	19	①	2